

第3回学校運営協議会準備委員会 議事録

【日時】令和4年3月15日（火） 13時20分～14時20分

【場所】道祖土小学校 4階 多目的室

【議事録】

○開会

○校長あいさつ

・本日のねらい及び準備委員会の位置づけ。

○コミュニティスクール立ち上げに向けての話し合い

【校長】前回の協議（「子どもたちにどのような力を身に付けさせたいか」「子どもたちにどう育ててほしいか」「望ましい子どもたちの姿は」）で出されたご意見等を踏まえて、案を提示する。

【案】

- ふるさと意識を持った子どもを育てたい  
地域の行事等に参加し楽しむ子
- 校訓「明るく 仲よく たくましく」を身に付け、受け継ぐ子どもを育てたい  
明るく…あいさつ、返事、感謝の気持ちがしっかり言える子  
…健全な心（時を守り、場を清め、礼を尽くす）  
仲よく…他者を認め思いやり、豊かに関わっていける子  
たくましく…自己肯定感とチャレンジ精神を持って頑張る子

以上のような子どもを育てていくために何をしていくかということをも本日熟議の内容としたい。

また、熟議の論点として次の3点が挙げられる。

- ・学校、家庭、地域が一緒にできることは何か。
- ・地域の力をどのように子どもたちの教育に生かすか。
- ・子どもの安心安全をどう守っていくか。

- ・よい案であるし、一方で実現することに努力が必要なことでもある。震災や戦争などあって、世界的には難しい方向に進んでおり、子どもたちの精神状態も心配である。安心できるイベントとして、自治会で餅つきを行ったところ、多くの子どもが参加し、盛況だった。地域でつながりを作っていく活動を意図的に増やしていくことが必要だ。そう考えると、子どもの心を育てることに重点を置いた目標にしたい。
- ・何をしてもコロナ禍で難しい状況である。また、働き方改革への配慮も必要で、家庭や地域と一緒に何かをすることも、平日の活動になるだろう。家庭や地域の人に学校に来てもらい、そこで何かをするというようにしたいところである。

【校長】来年度は、3世代ふれあいまつりなど、地域の方をお呼びする行事を再開する予定である。

- ・チャレンジスクールで関わることが多い。子どもには、教えているつもりが教えられていたりもするところが楽しい。ところで、地域とのつながりは、子どもの安全性を高めることにもつながる。地域の目で子どもを孤立させないことが必要だ。もし危機を迎えている子どもがいたとすれば、けっしてその子を見捨てない、そのような環境を作ることが大切だ。

- ・育成会会長としての立場から言えば、育成会は、学校と地域を結び付ける役割をしている。学校が地域のコミュニティの核として機能すれば、子どもの帰属意識もどんどん増していくだろう。また、コロナ禍のさまざまな行事について、テレビやリモートを利用して対応していくよう、PTAも意識を変えていくべき。
- ・公民館長としては、コロナで活動ができていない現状はある。そのような中でも、今年度は「もちつき大会」を開催することができた。子どもたちが大喜びしてくれて、やったかいがあった。子どもたちの笑顔を見ていると、改めてつながりが大切だと感じる。夏祭りや運動会など、地域と学校が関係する行事がやはり大切だ。また、そのようなつながりの中で、地域の歴史を伝えていければ幸いだ。
- ・学校・家庭・地域のそれぞれの役割について、文科省が明確にしていたが、それを参考にしつつ、改めて整理しなおす必要性を感じている。家庭に関して言えば、小学校で干渉しすぎだった保護者が、中学校では放任しすぎのように感じる。コロナに関しては、木崎中学校ではけっこう計画通りに進めている。そうすると、やはり子どもは充実感を感じているようだ。
- ・この地区には集会所や自治会館がないので、そこはなんとかしたい。コロナ禍で防災訓練が実施できず防火訓練になるなどした。また、まん延防止等重点措置に慣れてきてしまっている部分があり、意識を変える必要がある。
- ・学校側はたいへん一生懸命やってくれている。「ありがとう集会」では、わざわざお手紙で返事をくれて、とても嬉しかった。

**校長：**ふるさと意識を持った子どもを育てるための目標として、子どもの心に視点をあてた目標を考えるようにしたい。開かれた学校となるべく、PTA・地域との連携を進める。また、スクール・サポート・ネットワークや防犯ボランティアとの連携を深めていくことも必要である。さらに、校内に「コミュニティ・スペース（コーナー）」を作ったり、活動場所の提供として体育館・校庭を開放したりするなどの対応を考えていきたい。

一方、職員に対しては、コミュニティ・スクールに関する研修を行って意識改革を進めてきた。これからは教員がこの地域を知っていく必要がある。

校訓等是不変なつもりだが、STEAMS教育など、新しく求められる教育内容を「知・徳・体・コミュニケーション」の中に盛り込んで、総合的に学校経営方針を考えていく。

その他のこととして、10分早く始業する日課に変更する。このことにより、下校時刻が早くなり、家庭や地域で過ごす時間を増やしていけるメリットも期待できる。

**司会：**今回の熟議の内容を踏まえて、次年度当初に本校としての取組やその実施時期を明らかにしていく。これで今回の熟議を終了する。

#### ○いじめ防止対策委員会定例会

- ・教務主任から、いじめ発見・指導・見守り・解消の実数を報告。
- ・特に質問や意見はなし。

#### ○学校評価について

- ・教頭から学校評価の結果について説明。
- ・特に質問や意見はなし。

#### ○質疑応答

- ・特になし。

#### ○閉会